

心理学

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	藤澤 美穂 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

心理学は、「こころ」を科学的にとらえる学問のひとつであり、人間を探究する学問である。心理学では人間のもつ「こころ」の動きを理解するため、知覚・行動・感情などを対象とした実験・調査等がおこなわれ、また観察等を通じた人間行動解明へのアプローチがなされる。テレビや雑誌等で日常的に目にする「心理テスト」は、心理学から得られた知見をわかりやすく抽出したものではあるが、学問としての心理学においては、概念の定義、論理の整合性、科学的方法論等が重視され、より学術的で厳密な態度が求められる。

本科目においては、心理学の知見をもとに、「こころ」の動きが私たちの行動に及ぼす影響について、身近な例を通して理解することを目指す。

・教育成果（アウトカム）

- 1.こころの科学である心理学の知識を幅広く学ぶことによって、心理学的な見方を身につけることができる。
- 2.心理学を基礎・応用の両視野から理解することで、日常の出来事を客観的に分析できる視点を身につける。
- 3.こころと行動を理解することを通して、個人・社会において生じる現象について、相互作用的にとらえることができるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 心理学の領域を知る。
2. こころのありようを考えることを通し、人間理解の多様性について学ぶ。
3. 個人と他者、個人と集団の相互作用について、理解する。
4. 自分の「こころ」への興味関心を高め、理解を深める。

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/17	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	イントロダクション：心理学とは こころを科学的にとらえるとはどう いうことか、理解する
4/24	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	心理学の歴史 心理学でいう「学習」について 心理学の歴史について、意識、無意 識、行動、学習をキーワードに、理 解する
4/27	月	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	認知心理学-特に記憶について 行動主義ののちに発展した認知心理 学について理解する
5/15	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	短期記憶と長期記憶 記憶のメカニズムと特徴を理解する
5/22	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	社会心理学の視点から「集団」を考 える 個人と社会の相互作用を、社会心理 学の観点から理解する
5/25	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	臨床心理学の基礎 臨床心理学の歴史とその実践領域に ついて理解する
6/1	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	臨床心理学的支援の実際 臨床心理学における対人援助アプ ローチについて、自己実現という観点 から学ぶ
6/8	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	パーソナリティの理解 人格 (personality) について、遺伝、 行動、健康との関連という観点から 学ぶ
6/15	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	家族の心理学 人間の成長発達過程における家族の かわりについて学ぶ
6/17	水	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	働くことの心理学 バーンアウト、セルフケア、ワーク ライフバランスについて理解する

6/24	水	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	対人関係の心理学 対人魅力、パーソナルスペース、自己開示の効果について理解する
7/1	水	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	恋愛関係の心理学 互いに尊重しあう恋愛関係とはどういうものかを考える
7/8	水	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	犯罪行動の心理学 犯罪行動と準拠集団の関連について理解する
7/15	水	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	思春期青年期の理解、まとめ 思春期青年期における課題を理解し、よりよい学生生活について考える

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	図説心理学入門 第2版	齊藤勇（編）	誠信書房	2005

・成績評価方法

試験の成績を60%、授業にて課すワークへの取り組み（態度・内容）を20%、レポート課題を20%として評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・特記事項・その他

予習・復習のポイント

授業において次週の内容として示された箇所を、教科書を中心に予習をすること。

復習については、ノートを中心に、興味がある箇所は図書館の文献などで調べること。

授業で紹介する書籍や論文、DVDなどは、心理学分野研究室にもそろっていますので、積極的に研究室を訪問してください。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	プロジェクター	1	講義資料・教材の提示
講義	DVD (BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	書画カメラ	1	教材の提示
講義	デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education)	1	講義資料の作成